

専門分野Ⅱ 小児看護学 授業計画

授業科目及び時間数	小児看護Ⅰ 1単位 15時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	芝口由美子	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>本科目は、小児看護の対象を理解し、看護の特徴と理念を学ぶことがねらいである。この科目では、社会における子どもの存在と権利、小児医療や看護の変遷から現代の小児看護が理解できることを目標としている。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の対象               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもの特徴</li> <li>2) 子どもと家族、社会</li> <li>3) 子どもと医療</li> </ol> </li> <li>2. 小児看護の目標・役割</li> </ol>	講義	
2回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児と家族の諸統計               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) わが国の人口構造</li> <li>2) 出生と家族</li> <li>3) 子どもの死亡</li> </ol> </li> </ol>	講義・プレテスト	
3回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の変遷               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 諸外国の児童観・小児医療の変遷</li> <li>2) わが国の児童観・育児観の変遷</li> <li>3) わが国の小児医療の変遷</li> <li>4) 小児看護の変遷</li> </ol> </li> </ol>	講義	
4回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護における倫理               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもの権利</li> <li>2) 医療現場で起こりやすい問題点と看護</li> </ol> </li> </ol>	講義	
5回目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病構造の変化と小児看護</li> <li>2) 社会の変化と小児看護</li> <li>3) 小児看護の専門化</li> </ol> </li> <li>2. 小児看護で用いられる理論               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) セルフケア理論</li> <li>2) エリクソンの自我発達理論</li> <li>3) ピアジェの認知発達理論</li> <li>4) 親子関係論</li> <li>5) 家族理論</li> </ol> </li> </ol>	講義	
6回目	課題学習	グループワーク	
7回目	課題学習	発表会	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 (60%)・レポート (20%)・プレテスト (5%)・GW課題 (15%)		
受講生に対するメッセージ	小児看護Ⅰは、小児看護の対象と看護の特徴を理解する科目です。子どもと家族の理解が重要になります。身近に子どもがいない人は、公園やデパートなど子どもが集まるところに出かけて子どもと関わってみましょう。		
テキスト	系統看護講座 専門Ⅱ 小児看護学概論小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会出版会		
参考書			